

活用現場
レポート



農業生産法人
(有)グリーンズプランツ
新潟県新潟市 みつば・フレッシュハーブ

年間30万ケースのみつばを出荷するグリーンズプランツ様。
1999年より10,000m²の大型ハウスで、水耕栽培にてみつばとハーブを生産されています。ハウスには2003年よりFFCを導入頂き、生産と販売の両面で大きな効果を感じていただけています。今回はグリーンズプランツ様の活用方法をご紹介いたします。



代表者のお話



取締役会長
若林 馨 様

建築会社で16年勤めた後、42歳で水耕栽培事業を始めました。

事業開始から10年ほど経ってから知人からFFCを教えてもらいました。自ら率先してFFCを使った様々な実験を行ったことで、FFCの凄さを実感をし、事業への導入を決断いたしました。

お水が活水器に何回も接触する水処理システムを作成して以降、商品のランクが上がった様に感じます。今では商品の日持ちがするの当たり前で、工場内の清掃にも大変役立っています。

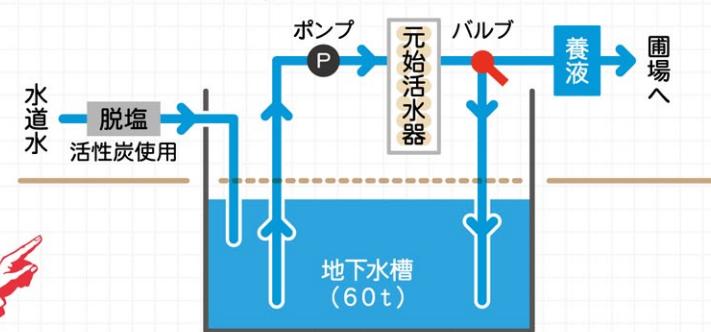
FFC活用方法

施設内で使う水はすべてFFCウォーター

2003年4月より業務用FFC元始活水器を設置されています。



活水器のより効果的な活用法



※作業が終了するとバルブを切り替え、水処理工場を循環をさせています。工場が休みの際は、常に循環をしています。

※塩素がイオン化合物に変化した際、植物にとって良くないため、活性炭を通して水道中の塩素を抜いています。

若林会長のこだわり

FFCセラミックスにお水を何回も接触させる独自な処理を行われます

みつばの生産



バイオゲン2000倍希釈水を一晩寝かします



種をバイオゲン希釈水に浸漬し、発芽を促します



切れ目のあるウレタンに播種します



播種後1日目



播種後7~14日目



播種後20日目頃、大きくなった苗の株間を広げます



圃場に移動させ、生育させます



適期のみつばを収穫し、FFCウォーターでよく洗って脱水します



みつばをパッキングします
専用の箱に10束ずつ入れます



FFC活用の効果

●発芽率が大幅にアップ!



通常80%程度の発芽率が90%を上回る数値になりました。

●溶液槽がきれいになった



給水管や水槽内のぬめりが全く発生しなくなりました。掃除は2年に1度しますが、きれいな状態が続くため、掃除が楽になったそうです。

●健全な発根を促進!



幼苗から白く健康的な根がびっしりと生えています！

●加工場の嫌な臭い、ぬめりがない



加工場では排水溝に商品の残渣が残っていることもあります、臭いが全くせず、ぬめりもない為、排水溝の掃除の回数が大幅に減少しました。

●殺菌剤・消毒剤ゼロ!

水耕栽培ではピシウム菌による病気予防のため薬剤で消毒する事業社もある中、グリーンズプランツ様では活水器設置以降、殺菌剤・消毒剤は使っていません。



ピシウム菌とは…カビの一種で、土壌や水中で繁殖しています。発病すると根腐れや立ち枯れを起こす病原菌です。

●従業員の手荒れがなくなった



加工場では商品の洗浄、下葉取りなどでお水をたくさん使用します。毎日お水に触れるにも関わらず、従業員の方の手は荒れることなく、ピカピカです。

●鮮度が良く日持ちがする

FFC元始活水器を使用して以降、商品の日持ちがするため、バイヤーから喜ばれているそう。鮮度や品質に関するクレームは一切なくなったとのこと。



若林会長オススメ みつばレシピ

トッピングに



シャキシャキ度がアップして、カップラーメンも驚くほどおいしくなります♪



三色おひたし



詳しくは
HPで！